

第5章 計画の推進に向けて

1 計画の推進体制

本計画は、基本理念の実現に向けて、市民や地域、学校、関係団体、事業所、行政など市全体が一体となって健康づくりを進めていくものです。総合的かつ効果的に計画を推進するため、それぞれの役割を明確にするとともに、連携・協働し、取組を進める必要があります。

本市においては、健康づくりに関する的確な情報提供や普及・啓発活動を行うことで、市民の健康意識の向上を図ります。また、地域や人とのつながりを深め、市民が積極的に健康づくりに取り組めるよう、様々な健康づくり事業による支援を行います。

本計画を広く市民に浸透させるとともに、市全体として、健康づくりの一層の推進を図り「みんなでつくろう 笑顔あふれる 『健康あいさい』」の実現を目指します。

2 計画の進行管理

計画を効果的かつ着実に推進するためには、“P D C A サイクル” [計画 (Plan) → 実行 (Do) → 点検・評価 (Check) → 改善 (Action)] を確立し、継続的に計画の進行管理を実施していく必要があります。

(1) 計画の進捗管理体制

計画の改善に向けた協議を定期的に行う体制として、愛西市健康日本 21 計画では関係機関・団体等により構成する「愛西市地域保健対策協議会」において、計画で設定した指標や取組内容をもとに、事業内容の点検・評価を行うとともに、次年度の実施事業や取組の重点目標を検討し、計画の進捗管理を行います。

(2) 計画の評価

愛西市健康日本 21 計画は、施策分野ごとに評価指標と目標値を設定し、それらの指標が達成できるよう、毎年取組内容の点検・評価を行っていくものとします。また、計画の中間年度に当たる令和 12 年度には実態を把握・評価し、その結果を基に社会情勢の変化などを加味し、目標や取組の見直しを行います。さらに、令和 18 年度には最終評価を行います。

資料編

1 評価の基準

計画の評価指標については、基準値と最終値を比較し、以下の基準により判定を行いました。

判定区分	判定基準
A	目標値に到達した
B	目標値に到達していないが改善した
C	変化がない
D	悪化している
-	評価困難（制度変更等により、最終値を把握できず評価不可能なもの等）

「変化がない（C判定）」は、基準値から目標値設定の上げ幅を勘案して、基準値から最終値に対する改善率を算定し、±10%以内のものとしします。

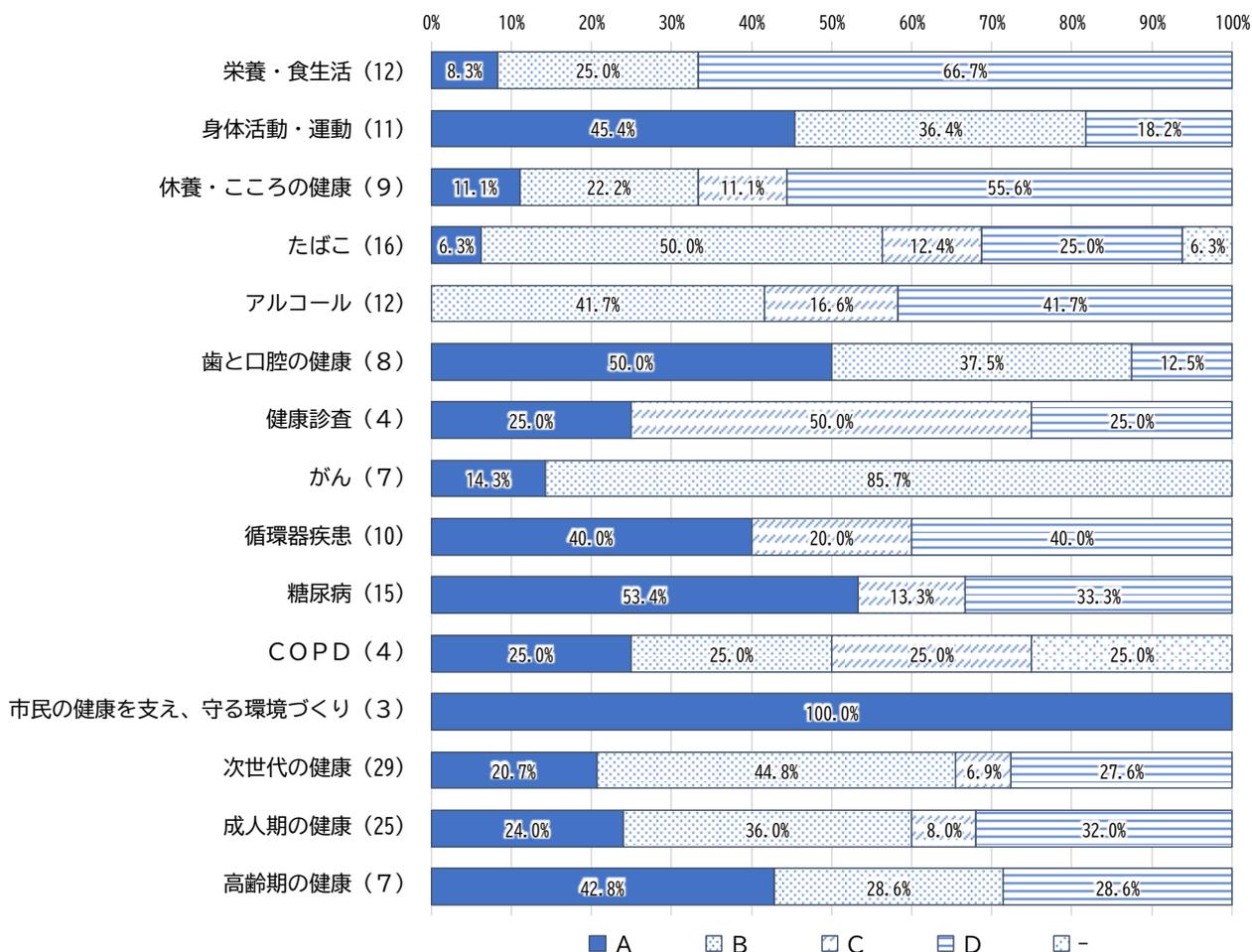
$$\text{改善率} = \frac{\text{最終値} - \text{基準値}}{\text{目標値} - \text{基準値}} \times 100$$

2 第2次愛西市健康日本21計画の最終評価

「目標値に到達した（A判定）」及び「目標値に到達していないが改善した（B判定）」とした指標が101指標（58.7%）となっているものの、「悪化している（D判定）」とした指標が53指標（30.8%）となっており、「変化がない（C判定）」とした指標の16指標（9.3%）を含めて、今後の課題となっています。

判定区分	判定結果	
	指標数	割合
A	45	26.2%
B	56	32.5%
C	16	9.3%
D	53	30.8%
-	2	1.2%
計	172	100.0%

○各分野の目標達成状況



(1) 健康的な生活習慣の実践

① 栄養・食生活

栄養・食生活では、12 指標を設定しています。このうち、目標値を達成したのは1 指標、目標値には到達していないが改善したのは3 指標、計画策定時より悪化したのは8 指標となっています。

第2次愛西市健康日本 21 計画の期間では、離乳食教室や各乳幼児健康診査、学校給食時の栄養指導で食生活を整える大切さについて周知・啓発しました。

また、愛西市で採れる野菜の摂取を促すために、市民団体が考案したレシピを載せたリーフレットの作成や、『届け！野菜の力』の歌、体操を考案し普及・啓発しました。地元の野菜を使用したメニュー提供店を巡るスタンプラリーを実施しました。

評価指標	基準値		中間値	目標値	最終値	判定
肥満者の割合の減少	30 歳代男性	28.2%	25.0%	25.0%以下	26.9%	B
	40 歳代男性	31.7%	36.4%	28.5%以下	41.2%	D
低栄養傾向の高齢者の割合の増加の抑制	65 歳以上	17.8%	17.3%	基準値より減少	19.3%	D
主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合の増加	20 歳以上	62.3%	56.8%	80.0%以上	56.4%	D
朝食を欠食する者の割合の減少	3 歳児健康診査	4.0%	7.4%	0.0%	5.5%	D
	小学3年生	5.5%	5.6%	2.0%	9.4%	D
	小学6年生	6.2%	12.8%	3.0%	12.2%	D
	中学3年生	10.4%	15.0%	7.0%	21.1%	D
	20 歳代	36.5%	31.1%	30.0%	34.0%	B
適正体重を認識し、体重コントロールを実践している者の割合の増加	20 歳以上男性	34.0%	40.1%	40.0%	42.9%	A
	20 歳以上女性	42.9%	48.0%	55.0%	44.3%	B
食生活改善推進員数の維持	80 人		47 人	基準値の維持	43 人	D

②身体活動・運動

身体活動・運動では、11 指標を設定しています。このうち、目標値を達成したのは5 指標、目標値には到達していないが改善したのは4 指標、計画策定時より悪化した指標が2 指標となっています。

第2次愛西市健康日本 21 計画の期間では、各種スポーツ教室やスポーツイベントを行い、運動を実施するきっかけを提供しました。高齢者においては、生きがい活動通所支援において介護予防に繋がっています。

市民が年齢問わず参加できるよう健康マイレージ事業の展開や、あいち健康プラスを推奨しました。さらに、ウォーキングロードを整備し、運動しやすい環境整備に取り組みました。

評価指標	基準値		中間値	目標値	最終値	判定
運動習慣者の割合の増加	20 歳以上	24.3%	26.9%	30.0%以上	31.2%	A
	30 歳代男性	18.8%	20.7%	24.0%以上	22.2%	B
	40 歳代男性	17.9%	17.2%	23.0%以上	23.5%	A
	50 歳代男性	16.8%	18.3%	22.0%以上	29.4%	A
	20 歳代女性	6.5%	10.3%	12.0%以上	9.4%	B
	30 歳代女性	9.1%	10.8%	14.0%以上	5.0%	D
	40 歳代女性	16.7%	14.6%	22.0%以上	17.8%	B
ロコモティブシンドローム（運動器症候群）を認知している者の割合の増加	20 歳以上	23.6%	37.9%	80.0%以上	38.3%	B
運動やスポーツを習慣的にしているこどもの割合の増加	小学3年生	53.7%	46.5%	基準値より増加	51.3%	D
	小学6年生	43.8%	47.3%		49.1%	A
ウォーキングロードの整備	0コース		0コース	1コース以上	2コース	A

③休養・こころの健康

休養・こころの健康では、9指標を設定しています。このうち、目標値を達成したのは1指標、目標値には到達していないが改善したのは2指標、変化がない指標は1指標、計画策定時より悪化したのは5指標となっています。

第2次愛西市健康日本21計画の期間では、「子どもの心の健康づくり事業」や出前講座・講演会の開催により、睡眠やこころの健康づくりに関する正しい知識の普及を行いました。また、高齢者においては愛西おでかけサロンや生きがい活動通所支援を行い、人と交流する機会や生きがいづくりを通してこころの健康づくりに取り組みました。

評価指標	基準値		中間値	目標値	最終値	判定
最近1か月でストレスを感じた者の割合の減少	20歳以上	60.4%	58.1%	52.0%以下	63.4%	D
自分なりのストレスの解消方法を持っている者の割合の増加	20歳以上	42.8%	44.0%	53.0%以上	41.9%	C
睡眠による休養が十分とれていない者の割合の減少	20歳以上	20.3%	23.9%	17.0%以下	27.7%	D
	40歳代男性	32.3%	36.8%	29.0%以下	38.3%	D
	40歳代女性	37.4%	40.3%	34.0%以下	46.7%	D
夜10時以降に寝るこどもの割合の減少	3歳児健康診査	19.8%	24.8%	10.0%以下	24.5%	D
	小学3年生	22.0%	32.5%	17.0%以下	19.8%	B
	小学6年生	64.0%	58.2%	60.0%以下	59.5%	A
ゆったりとした気分でこどもと過ごせる者の割合の増加	3歳児健康診査	68.8%	73.0%	80.0%以上	72.0%	B

④たばこ

たばこでは、16 指標を設定しています。このうち、目標値を達成したのは1 指標、目標値には到達していないが改善したのは8 指標、変化がない指標は2 指標、計画策定時より悪化したのは4 指標、評価困難が1 指標となっています。

第2次愛西市健康日本 21 計画の期間では、市民団体が作成した大型紙芝居の活用による保育園や小学校への喫煙防止教育や出前講座を実施し、喫煙による身体への影響について普及・啓発を行いました。また、誰でも視聴できるよう動画を作成しホームページにて公開しました。母子健康手帳交付、乳児家庭全戸訪問、乳幼児健康診査にて妊婦・同居家族の喫煙について指導しました。

評価指標	基準値		中間値	目標値	最終値	判定
成人の喫煙率の減少	20歳以上男性	27.6%	20.4%	17.0%以下	18.6%	B
	20歳以上女性	6.8%	3.8%	5.0%以下	4.8%	A
妊娠中の喫煙をなくす	母子健康手帳交付時	3.0%	4.0%	0.0%	2.3%	B
未成年者の喫煙をなくす	小学6年生	5.5%	2.1%	0.0%	1.4%	B
	中学3年生	6.1%	0.9%		0.9%	B
たばこを吸っていい年齢が20歳からであることを知っているこどもの割合の増加	小学3年生	81.8%	83.3%	90.0%	86.2%	B
	小学6年生	93.2%	92.3%	100.0%	82.8%	D
	中学3年生	94.9%	94.4%	100.0%	93.0%	D
喫煙しても家族から注意されないこどもをなくす	中学3年生	14.3%	0.0%	0.0%	50.0%	D
子育て中の家庭における父と母の喫煙者の割合の減少	3か月児健康診査	父 35.4%	29.8%	父親 25.0%以下 母親 3.5%以下	27.8%	B
		母 4.1%	3.2%		5.5%	D
	1歳6か月児健康診査	父 33.6%	39.0%		25.1%	B
		母 5.7%	4.1%		5.8%	C
	3歳児健康診査	父 32.5%	34.6%		31.8%	C
		母 5.8%	8.4%		4.9%	B
市内の受動喫煙防止対策実施施設の増加	愛知県タバコダメダス	121 施設	123 施設	150 施設	数値なし※	—

※健康増進法の一部改正に伴い、令和2年3月31日をもって受動喫煙防止対策実施施設データベースが終了したため数値なし。

⑤アルコール

アルコールでは、12 指標を設定しています。このうち、目標値には到達していないが改善したのは5 指標、変化がない指標は2 指標、計画策定時より悪化したのは5 指標となっています。

第2次愛西市健康日本 21 計画の期間では、市民団体が作成した大型紙芝居の活用による保育園や小学校への飲酒防止教育や出前講座を実施し、飲酒による身体への影響について普及・啓発を行いました。また、広報の「あいさいさんの健康まめ知識」にて適切な飲酒量について周知しました。

評価指標	基準値		中間値	目標値	最終値	判定
1 日平均飲酒量が3 合以上の者の割合の減少	20 歳以上男性	6.3%	8.8%	5.5%以下	14.3%	D
	20 歳以上女性	6.3%	4.3%		2.5%以下	4.9%
適度な飲酒量を知っている者の割合の増加	20 歳以上男性	52.4%	55.4%	80.0%以上	51.3%	C
	20 歳以上女性	48.5%	49.0%		44.7%	D
妊娠中の飲酒をなくす	母子健康手帳交付時	0.8%	0.9%	0.0%	0.4%	B
未成年者の飲酒をなくす	小学3 年生	47.7%	22.6%	0.0%	6.8%	B
	小学6 年生	42.2%	18.3%		11.3%	B
	中学3 年生	50.4%	26.7%		10.8%	B
飲酒してもいい年齢が20 歳からであることを知っているこどもの割合の増加	小学3 年生	92.2%	81.9%	95.0%	84.9%	D
	小学6 年生	94.2%	90.5%	100.0%	86.7%	D
	中学3 年生	94.6%	92.1%	100.0%	88.2%	D
飲酒しても家族から注意されないこどもをなくす	中学3 年生	47.4%	38.7%	0.0%	47.8%	C

⑥歯と口腔の健康

歯と口腔の健康では、8指標を設定しています。このうち、目標値を達成したのは4指標、目標値には到達していないが改善したのは3指標、計画策定時より悪化したのは1指標となっています。

第2次愛西市健康日本21計画の期間では、乳幼児から高齢者までの市民を対象に歯科健診を実施し、定期的に自分の歯と口腔の状態を把握する機会を提供しました。また、親子歯みがき教室やバトンタッチ事業等により歯の健康教育を実施しました。

評価指標	基準値		中間値	目標値	最終値	判定
保護者による仕上げみがきがされていない幼児の割合の減少	1歳6か月児健康診査	18.3%※1	5.3%※2	5.0%以下	2.5%※3	A
乳幼児期・学童期のむし歯のない児の割合の増加	3歳児健康診査	89.6%	90.7%	95.0%以上	93.7%	B
	12歳	65.2%	84.7%	75.0%以上	81.7%	A
歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少	14歳	10.3%	8.2%	5.0%以下	18.4%	D
定期的（1年間に1回以上）に歯科健診を受けている者の割合の増加	20歳以上	25.5%	33.9%	50.0%以上	58.5%	A
歯周炎を有する者の割合の減少	40歳	30.8%	27.8%	25.0%以下	27.1%	B
80歳で20本以上自分の歯を有する者の割合の増加	30.3%		34.3%	40.0%以上	48.8%	A
80歳の咀嚼良好者の割合の増加	49.5%		56.9%	65.0%以上	59.1%	B

※1：平成20～24年度の平均

※2：平成25～29年度の平均

※3：令和5年度

(2) 生活習慣病の発症予防と重症化予防

①健康診査

健康診査では、4指標を設定しています。このうち、目標値を達成したのは1指標、変化がない指標は2指標、計画策定時より悪化したのは1指標となっています。

第2次愛西市健康日本21計画の期間では、特定健康診査や後期高齢者健康診査を医療機関による個別健診のほか、公共施設等における集団検診で実施し、広報やホームページ等で周知・啓発を行いました。また、受診率を上げるためナッジ理論を活用した受診勧奨通知事業を取り入れました。

評価指標	基準値		中間値	目標値	最終値	判定
過去1年間に健康診査を受けた者の割合の増加	20歳以上男性	77.8%	76.9%	80.0%	73.6%	D
	20歳以上女性	65.5%	69.2%	70.0%	74.8%	A
特定健康診査の受診率の向上	41.4%		42.7%	60.0%	42.6%	C
特定保健指導の実施率の向上	10.0%		18.6%	60.0%	11.5%	C

②がん

がんでは、7指標を設定しています。このうち、目標値を達成したのは1指標、目標値には到達していないが改善したのは6指標となっています。

第2次愛西市健康日本21計画の期間では、がん検診の実施について、対象者や未受診者へ個別に通知するほか、広報、ホームページ、健康教育等でも周知し、啓発を行いました。また、受診の申し込みについて、24時間インターネットでの予約受付を可能とし、まとめて受診ができるよう集団検診を実施し、休日実施日を設け、若い世代が受診する日程では託児の用意をする等、受診しやすい検診環境の整備を行いました。

評価指標	基準値		中間値	目標値	最終値	判定
がん検診の受診率の向上	胃がん検診	15.9%	21.4%	40.0%以上	32.8%	B
	子宮がん検診	11.2%	14.7%	50.0%以上	33.7%	B
	乳がん検診	13.7%	13.9%	50.0%以上	36.1%	B
	大腸がん検診	23.9%	32.4%	40.0%以上	34.6%	B
	肺がん検診	19.3%	32.6%	40.0%以上	35.1%	B
成人の喫煙率の減少	20歳以上男性	27.6%	20.4%	17.0%以下	18.6%	B
	20歳以上女性	6.8%	3.8%	5.0%以下	4.8%	A

*評価指標の現状値は、令和6年度に実施した「愛西市健康に関するアンケート」の結果としている。P15「がん検診の受診状況」は国や県と比較するため、厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」を用いている。

③循環器疾患

循環器疾患では、10 指標を設定しています。このうち、目標値を達成したのは4 指標、変化がない指標は2 指標、計画策定時より悪化したのは4 指標となっています。

第2次愛西市健康日本 21 計画の期間では、健康相談や訪問指導により、個別に生活習慣の改善等の指導を実施しました。また、地域サロンや老人会等に出前講座に出向き、循環器疾患を予防するための生活習慣についての周知・啓発に取り組みました。

評価指標	基準値		中間値	目標値	最終値	判定	
急性心筋梗塞の標準化死亡比の減少	男性	120.6 ^{※1}	109.6 ^{※2}	基準値より減少	113.2 ^{※3}	A	
	女性	144.2 ^{※1}	155.0 ^{※2}		110.0 ^{※3}	A	
脳内出血の標準化死亡比の減少	男性	139.0 ^{※1}	116.5 ^{※2}	基準値より減少	105.3 ^{※3}	A	
	女性	187.2 ^{※1}	128.9 ^{※2}		97.2 ^{※3}	A	
メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合の減少	該当者	男性	32.7%	33.1%	基準値より減少	38.8%	D
		女性	13.5%	13.6%		14.2%	D
	予備群	男性	16.2%	16.8%		17.4%	D
		女性	5.4%	5.7%		5.7%	D
特定健康診査の受診率の向上	41.4%		42.7%	60.0%	42.6%	C	
特定保健指導の実施率の向上	10.0%		18.6%	60.0%	11.5%	C	

※1：平成 19～23 年

※2：平成 24～28 年

※3：平成 30～令和 4 年

④糖尿病

糖尿病では、15 指標を設定しています。このうち、目標値を達成したのは8指標、変化がない指標は2指標、計画策定時より悪化したのは5指標となっています。

第2次愛西市健康日本 21 計画の期間では、健康相談や訪問指導により、個別に生活習慣の改善等の指導を実施しました。また、広報では「あいさいさんの健康まめ知識」において、糖尿病に関する正しい知識の啓発を行うとともに、地域サロンや老人クラブ等に出向き出前講座を行いました。

評価指標	基準値		中間値	目標値	最終値	判定	
特定健康診査の ヘモグロビンA1c 有所見者の割合の減少	男性	40～49歳	31.8%	31.1%	基準値より 減少	42.6%	D
		50～59歳	52.0%	41.0%		51.3%	A
		60～69歳	65.5%	54.8%		60.2%	A
		70～79歳	68.3%	57.2%		44.0%	A
	女性	40～49歳	32.2%	16.6%		26.9%	A
		50～59歳	52.1%	34.4%		48.3%	A
		60～69歳	66.9%	52.3%		63.2%	A
		70～79歳	68.3%	55.4%		41.8%	A
特定健康診査における 血糖コントロール指標の 不良者の割合の減少	ヘモグロビン A1c (NGSP値 8.4%以上の 割合)		0.8%	0.6%	基準値より 減少	0.7%	A
メタボリックシンドローム の該当者及び予備群の割合 の減少	該当者	男性	32.7%	33.1%	基準値より 減少	38.8%	D
		女性	13.5%	13.6%		14.2%	D
	予備群	男性	16.2%	16.8%		17.4%	D
		女性	5.4%	5.7%		5.7%	D
特定健康診査の受診率の向上	41.4%		42.7%	60.0%	42.6%	C	
特定保健指導の実施率の向上	10.0%		18.6%	60.0%	11.5%	C	

⑤ COPD（慢性閉塞性肺疾患）

COPD（慢性閉塞性肺疾患）では、4指標を設定しています。このうち、目標値を達成したのは1指標、目標値には到達していないが改善したのは1指標、変化がない指標は1指標、評価困難が1指標となっています。

第2次愛西市健康日本21計画の期間では、広報の「あいさいさんの健康まめ知識」において、定期的にCOPDに関する知識の啓発を行いました。また、喫煙防止教育や出前講座を実施し、喫煙による身体への影響について普及・啓発を行いました。

評価指標	基準値		中間値	目標値	最終値	判定
COPDの認知度の向上	20歳以上	26.0%	23.2%	80.0%以上	24.2%	C
成人の喫煙率の減少	20歳以上男性	27.6%	20.4%	17.0%以下	18.6%	B
	20歳以上女性	6.8%	3.8%	5.0%以下	4.8%	A
市内の受動喫煙防止対策実施施設の増加	愛知県 タバコ ダメダス	121施設	123施設	150施設	数値なし※	—

※健康増進法の一部改正に伴い、令和2年3月31日をもって受動喫煙防止対策実施施設データベースが終了したため数値なし。

(3) 市民の健康を支え、守る環境づくり

市民の健康を支え、守る環境づくりでは、3指標を設定し、全ての指標で目標値を達成しています。

第2次愛西市健康日本21計画の期間では、食生活改善推進員や運動推進員等の養成講座を開催し、地域の支援者の養成を行いました。また、ボランティア団体に対する活動の企画・運営を支援し、幅広く活動できるようコーディネートしました。

評価指標	基準値		中間値	目標値	最終値	判定
地域のつながりが強いと思う者の割合の増加	20歳以上	28.1%	29.4%	45.0%以上	50.4%	A
市民の地域活動、ボランティア活動に参加している者の割合の増加	20歳以上	32.0%	25.9%	35.0%以上	67.6%	A
ボランティア登録をしている者の増加	414名		344名	基準値より増加	447名	A

(4) 生涯を通じた健康づくり

①次世代の健康

次世代の健康では、29 指標を設定しています。このうち、目標値を達成したのは6 指標、目標値には到達していないが改善したのは13 指標、変化がない指標は2 指標、計画策定時より悪化したのは8 指標となっています。

第2次愛西市健康日本 21 計画の期間では、妊娠・出産から子育てまでの切れ目ない支援の展開のために、健康診査、健康相談、健康教育の実施や関係機関との連携支援を推進しました。また、保育園、幼稚園、こども園等及び学校等と連携して、適切な生活習慣を身につけるための健康教育やあいさい健康マイレージ事業の啓発を行いました。

評価指標	基準値		中間値	目標値	最終値	判定
全出生数中の低出生体重児の割合の減少	10.6%※1		10.0%※2	基準値より減少	7.9%	A
肥満のあるこどもの割合の減少 中等度・高度肥満傾向児の割合(小学5年生)	男子	7.7%	3.8%	基準値より減少	5.2%	A
	女子	4.9%	3.4%		8.2%	D
20～30 歳代の女性のやせの者の割合の減少	20～30 歳代女性	21.0%	18.1%	15.0%以下	11.4%	A
朝食を欠食するこどもの割合の減少	3歳児健康診査	4.0%	7.4%	0.0%	5.5%	D
	小学3年生	5.5%	5.6%	2.0%	9.4%	D
	小学6年生	6.2%	12.8%	3.0%	12.2%	D
	中学3年生	10.4%	15.0%	7.0%	21.1%	D
運動やスポーツを習慣的にしているこどもの割合の増加	小学3年生	53.7%	46.5%	基準値より増加	51.3%	D
	小学6年生	43.8%	47.3%		49.1%	A
夜10時以降に寝るこどもの割合の減少	3歳児健康診査	19.8%	24.8%	10.0%以下	24.5%	D
	小学3年生	22.0%	32.5%	17.0%以下	19.8%	B
	小学6年生	64.0%	58.2%	60.0%以下	59.5%	A
ゆったりとした気分でこどもと過ごせる者の割合の増加	3歳児健康診査	68.8%	73.0%	80.0%以上	72.0%	B
妊娠中の喫煙をなくす	母子健康手帳交付時	3.0%	4.0%	0.0%	2.3%	B

※1：平成20～24年度の平均

※2：平成24～28年度の平均

評価指標	基準値		中間値	目標値	最終値	判定
20歳未満の者の喫煙をなくす	小学6年生	5.5%	2.1%	0.0%	1.4%	B
	中学3年生	6.1%	0.9%		0.9%	B
子育て中の家庭における父と母の喫煙者の割合の減少	3か月児健康診査	父 35.4%	29.8%	父親 25.0%以下 母親 3.5%以下	27.8%	B
		母 4.1%	3.2%		5.5%	D
	1歳6か月児健康診査	父 33.6%	39.0%		25.1%	B
		母 5.7%	4.1%		5.8%	C
	3歳児健康診査	父 32.5%	34.6%		31.8%	C
		母 5.8%	8.4%		4.9%	B
妊娠中の飲酒をなくす	母子健康手帳交付時	0.8%	0.9%	0.0%	0.4%	B
20歳未満の者の飲酒をなくす	小学3年生	47.7%	22.6%	0.0%	6.8%	B
	小学6年生	42.2%	18.3%		11.3%	B
	中学3年生	50.4%	26.7%		10.8%	B
乳幼児期・学童期のむし歯のない児の割合の増加	3歳児	89.6%	90.7%	95.0%以上	93.7%	B
	12歳児	65.2%	84.7%	75.0%以上	81.7%	A

②成人期の健康

成人期の健康では、25 指標を設定しています。このうち、目標値を達成したのは6 指標、目標値には到達していないが改善したのは9 指標、変化がない指標は2 指標、計画策定時より悪化したのは8 指標となっています。

第2次愛西市健康日本 21 計画の期間では、市民一人ひとりが自分の健康状態を知るきっかけづくりのために、健康診査やがん検診を実施し、受診率が向上するよう啓発を行いました。また、ライフスタイルに応じた健康づくりを主体的に行えるよう、あいさい健康マイレージ事業（あいち健康プラス）やウォーキングロードの活用について啓発を行いました。

評価指標	基準値		中間値	目標値	最終値	判定	
過去1年間に健康診査を受けた者の割合の増加	20歳以上男性	77.8%	76.9%	80.0%	73.6%	D	
	20歳以上女性	65.5%	69.2%	70.0%	74.8%	A	
特定健康診査の受診率の向上	41.4%		42.7%	60.0%	42.6%	C	
特定保健指導の実施率の向上	10.0%		18.6%	60.0%	11.5%	C	
がん検診の受診率の向上	胃がん検診	15.9%	21.4%	40.0%以上	32.8%	B	
	子宮がん検診	11.2%	14.7%	50.0%以上	33.7%	B	
	乳がん検診	13.7%	13.9%	50.0%以上	36.1%	B	
	大腸がん検診	23.9%	32.4%	40.0%以上	34.6%	B	
	肺がん検診	19.3%	32.6%	40.0%以上	35.1%	B	
メタボリックシンドローム 該当者及び予備群の割合の減少	該当者	男性	32.7%	33.1%	基準値より減少	38.8%	D
		女性	13.5%	13.6%		14.2%	D
	予備群	男性	16.2%	16.8%		17.4%	D
		女性	5.4%	5.7%		5.7%	D
特定健康診査における血糖コントロール指標の不良者の割合の減少	ヘモグロビンA1c (NGSP値8.4%以上の割合)		0.8%	0.6%	基準値より減少	0.7%	A
肥満者の割合の減少	30歳代男性	28.2%	25.0%	25.0%以下	26.9%	B	
	40歳代男性	31.7%	36.4%	28.5%以下	41.2%	D	

評価指標	基準値		中間値	目標値	最終値	判定
	20歳以上男性	20歳以上女性				
適正体重を認識し、体重コントロールを実践している者の割合の増加	20歳以上男性	34.0%	40.1%	40.0%	42.9%	A
	20歳以上女性	42.9%	48.0%	55.0%	44.3%	B
運動習慣者の割合の増加	20歳以上	24.3%	26.9%	30.0%以上	31.2%	A
睡眠による休養が十分とれていない者の割合の減少	20歳以上	20.3%	23.9%	17.0%以下	27.7%	D
成人の喫煙率の減少	20歳以上男性	27.6%	19.5%	17.0%以下	18.6%	B
	20歳以上女性	6.8%	3.6%	5.0%以下	4.8%	A
1日平均飲酒量が3合以上の者の割合の減少	20歳以上男性	6.3%	8.8%	5.5%以下	14.3%	D
	20歳以上女性	6.3%	4.3%	2.5%以下	4.9%	B
定期的（1年間に1回以上）に歯科健診を受けている者の割合の増加	20歳以上	25.5%	33.9%	50.0%以上	58.5%	A

③高齢期の健康

高齢期の健康では、7指標を設定しています。このうち、目標値を達成したのは3指標、目標値には到達していないが改善したのは2指標、計画策定時より悪化したのは2指標となっています。

第2次愛西市健康日本21計画の期間では、人とのつながりや生きがいを感じられる場を作るために、愛西おでかけサロンや生きがい活動通所支援等を実施しました。また、健食健口教室や出前講座等を実施し、高齢者の身体機能や生活機能に合わせた知識の啓発を行いました。

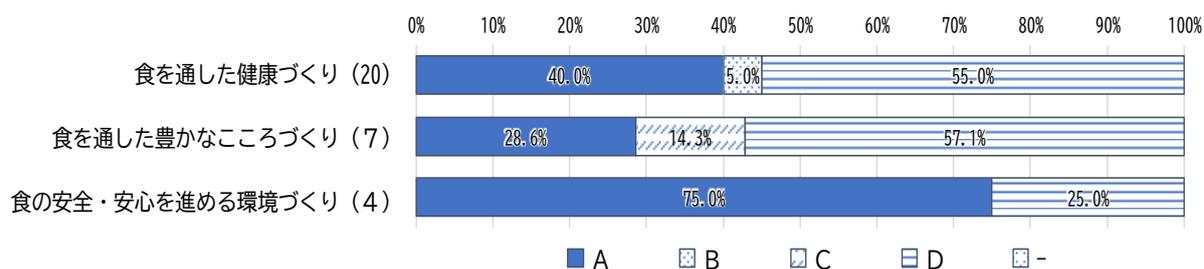
評価指標	基準値		中間値	目標値	最終値	判定
低栄養傾向の高齢者の割合の増加の抑制	65歳以上	17.8%	17.3%	基準値より減少	19.3%	D
ロコモティブシンドロームを認知している者の割合の増加	20歳以上	23.6%	37.9%	80.0%以上	38.3%	B
60歳以上で何らかの活動を行ったり、参加している者の割合の増加	57.6%		57.2%	基準値より増加	65.2%	A
地域のつながりが強いと思う者の割合の増加	60歳代	31.5%	25.0%	47.0%以上	54.6%	A
	70歳代	40.2%	40.5%	55.0%以上	52.9%	B
	80歳以上	48.2%	44.8%	63.0%以上	46.4%	D
80歳で20本以上の自分の歯を有する者の割合の増加	30.3%		34.3%	40.0%以上	48.8%	A

3 第2次愛西市食育推進計画の最終評価

「目標値に到達した（A判定）」及び「目標値に到達していないが改善した（B判定）」とした指標が14指標（45.2%）となっているものの、「悪化している（D判定）」とした指標が16指標（51.6%）となっています。

判定区分	判定結果	
	指標数	割合
A	13	42.0%
B	1	3.2%
C	1	3.2%
D	16	51.6%
-	0	0.0%
計	31	100.0%

○各分野の目標達成状況



(1) 食を通した健康づくり

食を通した健康づくりでは、20 指標を設定しています。このうち、目標値を達成したのは8 指標、目標値には到達していないが改善したのは1 指標、計画策定時より悪化したのは11 指標となっています。

第2次愛西市食育推進計画の期間では、食事と健康の関係性を理解し、生涯を通じて望ましい食事ができるよう、離乳食教室や各乳幼児健康診査では管理栄養士と連携し栄養面と子育ての両側面からの支援を行いました。

学校給食では、生徒自身に栄養指導を実施し、栄養バランスや自分に合った食事量を指導しました。

また、バランスのとれた簡単な朝食等のレシピ等を活用し、食生活を整える大切さと工夫について周知・啓発しました。

市の事業としては、食への関心を高めるため、収穫体験や自立クッキング、親子教室を通じて子どもたちに実際に調理する機会を提供しました。

また、年長児とその保護者や保育者に対し、健やかで賢い子どもを育てるための親子講演会として「排便と睡眠の話」を開催しました。

評価指標	基準値		中間値	目標値	最終値	判定
朝食を欠食する者の割合の減少	園児	2.5%	4.8%	0.0%	3.3%	D
	小学3年生	5.5%	5.6%	2.0%	9.4%	D
	小学6年生	6.2%	12.8%	3.0%	12.2%	D
	中学3年生	10.4%	15.0%	7.0%	21.1%	D
肥満者の割合の減少	30歳代男性	28.2%	25.0%	25.0%以下	26.9%	B
	40歳代男性	31.7%	36.4%	28.5%以下	41.2%	D
肥満のある子どもの割合の減少 中等度・高度肥満傾向児の割合 (小学5年生)	男子	7.7%	3.8%	基準値より 減少	5.2%	A
	女子	4.9%	3.4%		8.2%	D
20～30歳代の女性の やせの者の割合の減少	20～30歳代 女性	21.0%	18.1%	15.0%以下	11.4%	A
主食・主菜・副菜を 組み合わせた食事が 1日2回以上の日が ほぼ毎日の者の割合の増加	20歳以上	62.3%	56.8%	80.0%以上	56.4%	D
食事内容に気をつけている 人の割合の増加	男性	65.9%	71.8%	基準値より 増加	70.1%	A
	女性	81.3%	83.5%		85.3%	A

評価指標	基準値		中間値	目標値	最終値	判定
色の濃い野菜や生野菜を食べるようにしている人の割合の増加	男性	30.3%	44.2%	基準値より増加	39.1%	A
	女性	45.4%	54.1%		59.5%	A
毎日排便する人の割合の増加	園児	76.3%	69.3%	基準値より増加	64.9%	D
	小学5年生	48.1%	40.2%		45.6%	D
	小学6年生	45.0%	49.5%		47.3%	A
	中学1年生	53.3%	52.4%		47.4%	D
	中学3年生	43.8%	49.2%		49.8%	A
低栄養傾向の高齢者の割合の増加の抑制	65歳以上	17.8%	17.3%	基準値より減少	19.3%	D

(2) 食を通した豊かなこころづくり

食を通した豊かなこころづくりでは、7指標を設定しています。このうち、目標値を達成したのは2指標、変化がない指標は1指標、計画策定時より悪化したのは4指標となっています。

第2次愛西市食育推進計画の期間では、保育園、幼稚園、こども園等及び学校等と連携して収穫体験や農業体験を実施し、野菜への知識や生産者への感謝を学びました。また、乳幼児期から家族で食卓を囲むことの大切さや、「いただきます」「ごちそうさま」を言えるよう健診や教室等で指導しました。

伝統的な食文化を次世代に伝承するため、広報等で伝統料理のレシピを紹介しました。

評価指標	基準値		中間値	目標値	最終値	判定
家族がそろって食事を摂る人の割合の増加	男性	56.9%	57.3%	基準値より増加	59.3%	A
	女性	70.0%	66.9%		74.2%	A
自分で作ることもある、またはよく手伝いをする人の割合の増加	小学生	40.0%	44.0%	基準値より増加	32.2%	D
	中学生	35.1%	28.0%		27.9%	D
食事をするとき、あいさつをする人の割合の増加	園児	60.2%	61.1%	80.0%以上	50.4%	D
	小学生	75.4%	81.6%		62.3%	D
	中学生	65.7%	80.1%		66.7%	C

(3) 食の安全・安心を進める環境づくり

食の安全・安心を進める環境づくりでは、4指標を設定しています。このうち、目標値を達成したのは3指標、計画策定時より悪化したのは1指標となっています。

第2次愛西市食育推進計画の期間では、学校給食を活用したこどもへの地産地消の理解促進のために、愛西市畜産組合と連携し、地場産物（豚肉）を使用した「ウインナー作り教室」を実施しました。また、「あいさいさん☆給食コンクール」を実施し、優秀レシピを毎月の広報に掲載しました。

評価指標	基準値		中間値	目標値	最終値	判定
県産農産物を優先して購入したいと思う市民の割合の増加 (米、野菜、果物、肉、卵、魚の購入意向の平均)	14.6%※1		18.0%※3	17.4%以上	18.6%※5	A
食料品の原産地、添加物、品質表示を確認して購入する人の割合の増加	男性	平成26年度以降調査実施	48.4%※4	調査値より増加	53.0%	A
	女性		83.5%※4		77.3%	D
食品を無駄なく使い、食べ残しをしないように心がけている人の割合の増加	43.0%※2		41.8%※3	50.0%以上	90.3%	A

※1：平成25年

※2：平成22年

※3：平成27年

※4：平成30年

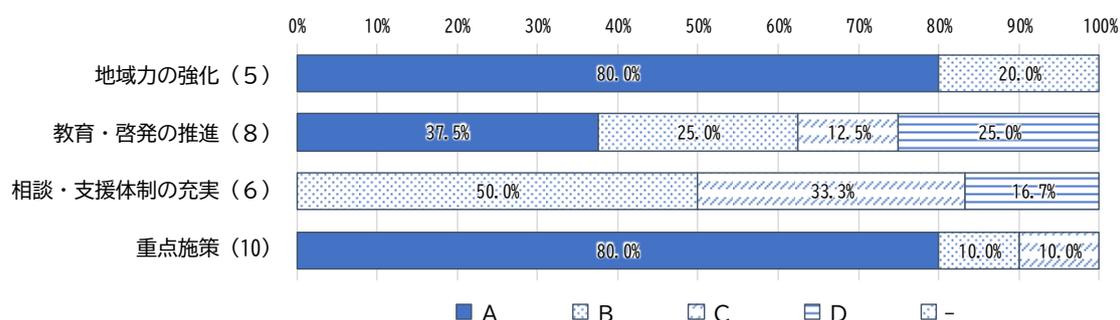
※5：令和5年

4 愛西市自殺対策計画の最終評価

「目標値に到達した（A判定）」及び「目標値に到達していないが改善した（B判定）」とした指標が22指標（75.8%）となっているものの、「悪化している（D判定）」とした指標が3指標（10.4%）となっており、「変化がない（C判定）」とした指標の4指標（13.8%）を含めて、今後の課題となっています。

判定区分	判定結果	
	指標数	割合
A	15	51.7%
B	7	24.1%
C	4	13.8%
D	3	10.4%
-	0	0.0%
計	29	100.0%

○各分野の目標達成状況



(1) 地域力の強化

地域力の強化では、5指標を設定しています。このうち、目標値を達成したのは4指標、目標値には到達していないが改善したのは1指標となっています。

愛西市自殺対策計画の期間では、市職員に対するゲートキーパーの育成にかかる研修や市民に対する認知症サポーター養成講座等を実施しました。

地域においては、自主防災会の活動や、学校ごとに地域の高齢者等を巻き込んだボランティア活動の協力体制が取られるなど、活動の幅が広がっています。

評価指標	基準値	目標値	最終値	判定
認知症サポーター養成講座の参加人数の増加	1,436人	2,200人	4,016人	A
ファミリー・サポート・センター提供会員数の維持	149人	150人	217人	A
市民の地域活動、ボランティア活動に参加している人の割合の増加	25.9%	35.0%以上	67.6%	A
地域のつながりが強いと思う人の割合の増加	29.4%	45.0%以上	50.4%	A
ゲートキーパーの人材育成に係る啓発回数の増加	0回	年3回	1回	B

(2) 教育・啓発の推進

教育・啓発の推進では、8指標を設定しています。このうち、目標値を達成したのは3指標、目標値には到達していないが改善したのは2指標、変化がない指標は1指標、計画策定時より悪化したのは2指標となっています。

愛西市自殺対策計画の期間では、こころの体温計の導入や睡眠に焦点を当てた取組を展開してきました。また、児童生徒が自らSOSを発信できるよう、子どもの心の健康づくり事業（いのちの授業、二分の一成人式）やスクールカウンセラー派遣事業等を実施しました。

評価指標	基準値		目標値	最終値	判定
自分なりのストレス解消方法を持っている人の割合の増加	44.0%		53.0%以上	41.9%	D
睡眠による休養が十分とれていない人の割合の減少	23.9%		17.0%以下	27.7%	D
こころの体温計の認知度の増加	4.1%		10.0%以上	8.8%	B
自分のことが好きだと思う人の割合の増加	小学3年生	72.5%	80.0%以上	72.1%	C
	小学5・6年生	69.3%	75.0%以上	71.3%	B
	中学1・3年生	51.9%	60.0%以上	67.5%	A
スクールカウンセラーなど相談先の認知度の増加	44.5%		60.0%以上	77.5%	A
子どもの心の健康づくり事業実施率の維持（いのちの授業、二分の一成人式）	100.0%		100.0%	100.0%	A

(3) 相談・支援体制の充実

相談・支援体制の充実では、6指標を設定しています。このうち、目標値には到達していないが改善したのは3指標、変化がない指標は2指標、計画策定時より悪化したのは1指標となっています。

愛西市自殺対策計画の期間では、個々の悩みに応じた相談ができるよう、こころの健康相談やあいさいっ子相談室等の相談窓口を設置し、広報やホームページ、チラシ等で周知・啓発しました。

評価指標	基準値		目標値	最終値	判定
地域の相談機関を知っている人の割合の増加	こころの健康相談	10.3%	25.0%以上	10.1%	C
	こころの体温計	4.1%	10.0%以上	3.9%	C
	生活支援相談	13.8%	30.0%以上	11.0%	D
	高齢者相談窓口	19.5%	35.0%以上	24.8%	B
	あいさいっ子相談室	6.2%	15.0%以上	8.7%	B
ためらいなく相談できる人の割合の増加	51.6%		60.0%以上	56.7%	B

(4) 重点施策

重点施策では、10 指標を設定しています。このうち、目標値を達成したのは8指標、目標値には到達していないが改善したのは1指標、変化がない指標は1指標となっています。

愛西市自殺対策計画の期間では、「こども・若者」、「勤務問題」、「高齢者」、「生活困窮者」層への対策として、学校保健や職域保健（産業保健関係者・企業・医療保険者等）、保健医療福祉団体等と連携しながら、相談窓口の設置や講座等の実施に取り組んできました。

地域・職域連携推進事業として、市内事業所の健康経営の推進等を目的に、全国健康保険協会と共同で健康宣言ダブルチャレンジ共同賞状授与事業を実施しました。

評価指標	基準値		目標値	最終値	判定
【再掲】 自分のことが好きだと思ふ人の割合の増加	小学3年生	72.5%	80.0%以上	72.1%	C
	小学5・6年生	69.3%	75.0%以上	71.3%	B
	中学1・3年生	51.9%	60.0%以上	67.5%	A
【再掲】 スクールカウンセラーなど 相談先の認知度の増加	44.5%		60.0%以上	77.5%	A
【再掲】 子どもの心の健康づくり事業 実施率の維持（いのちの授業、 二分の一成人式）	100.0%		100.0%	100.0%	A
出前講座を実施した事業所数の 増加	1事業所		3事業所	5事業所	A
健康経営推進企業の登録制度等 の周知件数の増加	0事業所		3事業所	16事業所	A
【再掲】 認知症サポーター養成講座の 参加数の増加	1,436人		2,200人	4,016人	A
多様なサービスが提供できる 実施機関の数の増加	9件		20件	21件	A
生活困窮者自立相談支援件数の 増加	49件		80件	135件	A

5 用語解説

あ行	
あいさいっ子相談室	「愛西市こども家庭センター」の通称名。妊娠中から子育て中の方、こども本人の総合相談窓口（ワンストップ相談窓口）。
あいさい健康マイレージ事業	市内在住、在勤、在学の方を対象に、健康づくりの取組を行ってポイントが貯まると、県内の健康マイレージ協力店でサービスが受けられる優待カード「まいか」と交換ができる事業。
あいち健康プラス	あいさい健康マイレージ事業のアプリ版。日々の歩数記録や、体重・血圧の記録、歩数ランキング、バーチャルウォーク等の健康管理や生活習慣の改善につながる機能が利用できる。
悪性新生物	「がん」のこと。「悪性腫瘍」の別名。
いのちの授業	市内中学生を対象に、自身の生い立ちの振り返りや、妊婦や赤ちゃんとその保護者との交流等を通じて、自分や周囲の命の大切さについて学が授業。
ウォーキングロード	市内に設置された佐屋地区、佐織地区、立田地区、八開地区のウォーキングロード、あいさい健康ロード。
運動推進員	運動を通じた地域健康づくりを推進するボランティア団体。出前講座や健康教室にて「愛西のびのびストレッチ」の普及啓発にも取り組んでいる。
オーラルフレイル	歯や口の機能が衰えた状態（食べ残し、わずかなむせ、噛めないものが増える、うまくのみ込めないなど）。「フレイル」の初期の段階。
か行	
ゲートキーパー	自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応（悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る）ができる人。
健康経営	従業員等の健康保持・増進の取組が将来的に収益性等を高める投資であるとの考えのもと、健康管理を経営的視点から考え戦略的に実践すること。
国保データベース（KDB）	国保連合会が健診・保健指導、医療、介護の各種データを利活用し、「統計情報」や「個人の健康に関するデータ」を作成するシステム。
こころの体温計	こころの健康状態やストレスの状態を、携帯電話やパソコンを利用して調べることができるサービス。
さ行	
食生活改善推進員	食を通じた地域の健康づくりを推進するボランティア団体。「ヘルスマイト」や「食改さん」などと呼ばれている。
生活習慣病	食事や運動、休養、喫煙、飲酒などの生活習慣が深く関与し、それらが発症の要因となる疾患の総称。
ソーシャルキャピタル	物的資本(Physical Capital)や人的資本(Human Capital)などと並ぶ新しい概念で、人々の協調行動を活発にすることによって、社会の効率性を高めることのできる、「信頼」「規範」「ネットワーク」といった社会組織の特徴のこと。
た行	
タバコダメダス	「受動喫煙防止対策実施施設データベース」のこと。令和2年3月に終了している。
地域・職域連携推進事業	地域保健（県・市町村等）と職域保健（産業保健関係者・企業・医療保険者等）、保健医療団体等が連携しながら、地域と職域との保健体制による相乗効果によって、住民の健康づくりを支援していく事業。
出前講座	市の職員が講師となり、講座を実施するもの。
特定健康診査	生活習慣病の発症や重症化予防を目的として、40歳以上75歳未満の被保険者を対象として行う健康診査。
特定保健指導	特定健康診査の結果から、生活習慣病の発症リスクが高く、生活習慣病の予防効果が多く期待できる人に対して行う保健指導。

な行	
ナッジ理論	日常の選択や意思決定に、ちょっとしたきっかけを与えることで特定の行動を促す理論のこと。行動を制限したり限定したりせず、無意識に望ましい行動をとれるよう後押しする。
認知症	記憶障害、見当識障害、判断力の低下を引き起こす脳の認知機能障害を指す。この障害が日常生活に支障をきたすようになると認知症と呼ばれる。
は行	
標準化死亡比	基準死亡率（人口 10 万対の死亡数）を対象地域に当てはめた場合に、計算により求められる期待される死亡数と実際に観察された死亡数とを比較するものである。我が国の平均を 100 としており、標準化死亡比が 100 以上の場合は我が国の平均より死亡率が高いと判断され、100 以下の場合は死亡率が低いと判断される。
フッ化物応用	フッ化物配合歯磨剤、フッ化物歯面塗布やフッ化物洗口などを組み合わせて利用するなど、むし歯予防のためのフッ化物応用を指す。フッ化物応用によるむし歯予防は、世界の専門機関が推奨している。
フレイル	健康な状態と要介護状態の中間に位置し、身体的機能や認知機能の低下が見られる状態のこと。
ヘモグロビン A1c	「ヘモグロビンエーワンシー」といい、血糖が結合したヘモグロビンが存在している割合をパーセント（%）で表したものの。過去 1～2 か月の平均的な血糖の状態を示す。
ヘルスプロモーション	人々が自らの健康をコントロールし、改善できるようにするプロセス。人々の主体性が発揮されるよう各個人の能力をつけていくこと、政治や経済、文化、環境等も含めた広い範囲で健康のための条件を整えていくよう唱導していくこと、保健分野を越えた社会の広い分野の活動や関心を調整していくことが必要であるとされる。
ま行	
メタボリックシンドローム	内臓肥満に高血圧、高血糖、脂質代謝異常が組み合わさることにより、心臓病や脳卒中などになりやすい病態を指す。
や行	
有所見者	健康診査等において、医師の診断が「要精密検査」「要治療」「要経過観察」等であり、何らかの異常の所見がある者。
要介護認定	介護保険法に基づき、認定審査を受け、被保険者がどの程度の介護が必要となるかを認定すること。自立、要支援 1～2、要介護 1～5 に分類される。
ら行	
ライフコースアプローチ	胎児期から老齢期に至るまで人の生涯を経時的に捉え、健康づくりに取り組むこと。
ロコモティブシンドローム	骨や関節の病気、筋力の低下、バランス能力の低下によって転倒・骨折しやすくなることで、自立した生活ができなくなり、介護が必要となる危険性が高い状態を指す。
英数字	
8020	「80 歳で 20 本以上自分の歯を保ちましょう」という厚生労働省等が提唱している運動。
BMI	体格を表す指標として国際的に用いられている指数で、「体重（kg）」÷「身長（m）の 2 乗」で求められる。日本肥満学会が定めた基準では、BMI25 以上が「肥満」、18.5 未満が「低体重（やせ）」、18.5 以上 25 未満が「普通体重（適正体重）」とされる。
COPD（慢性閉塞性肺疾患）	たばこなどの有害物質の吸引によって肺に慢性的に炎症が起き、呼吸困難や咳などの症状がみられる病気。
K6	うつ病や不安障害などの精神疾患の可能性のある人を見つけるための調査手法。6 項目の質問に対して、「まったくない」（0 点）「少しだけ」（1 点）「ときどき」（2 点）「たいてい」（3 点）「いつも」（4 点）で回答。合計点数が 9 点以上の場合、心の健康が崩れている可能性が高いとされる。